



令和 4 年 4 月 1 9 日
 経 済 局 産 業 連 携 推 進 課
 (公財) 木原記念横浜生命科学振興財団



米国サンディエゴのスタートアップ支援組織「CONNECT」の アクセラレーションプログラムの支援企業を募集します

～資金調達に実績のあるライフサイエンス分野のアクセラレーションプログラム～

米国サンディエゴは、年間のベンチャーキャピタル投資額が 1,600 億円を超える全米有数のスタートアップ支援の先進地域です。

横浜市と(公財)木原記念横浜生命科学振興財団（以下「木原財団」という。）は、米国起業家支援組織「CONNECT（コネクト）」と連携し、ライフサイエンス分野の中小・スタートアップ企業を育成・支援するプログラム“The Springboard™ Program in Yokohama”を実施します。

本プログラムに参加する企業は、メンターと共にビジネスプランをブラッシュアップし、ピッチスキルを磨きます。メンタリング期間中は木原財団または（公財）横浜企業経営支援財団（以下「IDEC 横浜」）の専門家・コーディネーターが伴走支援いたします。

また、プログラムの修了後には、米国の VC や関係企業に対し、Demo day（オンライン）による成果報告を行います。

この取組により、横浜市は、「イノベーション都市・横浜」の実現に向け、中小・スタートアップ企業を支援します。

CONNECT と連携したアクセラレーションプログラムの特徴

名 称	The Springboard™ Program in Yokohama
プログラムの概要	(1) VC 出身者や元バイオ系企業経営者による「メンタリング」 (2) 専門家・コーディネーターによる「伴走支援・ファシリテーション」 (3) 海外投資家に対する実践の場である「デモデイ」
プログラムのメリット	(1) ビジネスモデルが洗練されるため、自社の持つ製品やサービスについて訴求力が向上 (2) 海外向け資金調達ピッチのプレゼン内容をブラッシュアップ (3) プログラムを通じた知名度向上による、投資家や医療機関等との関係構築
詳 細	https://www.city.yokohama.lg.jp/business/keizai/lifescience/kaigai/sbp2022.html

CONNECT とは

米国サンディエゴのスタートアップコミュニティにおける 2 大支援機関である「CONNECT」（1985 年設立）と「San Diego Venture Group」（1986 年設立）が 2019 年 4 月に合併。各組織に由来するノウハウと実績、幅広いネットワークにより、優れた企業の創出に向けて、企業の成長・拡大、資金調達を支援するプログラムやイベントを実施し、サンディエゴ地域の起業家やスタートアップ企業の育成を行っています。



公募要項

- 公募期間： 令和4年4月19日（火）から5月31日（火）まで
- 募集人数： 4者・チーム程度
- 参加費： 無料（交通費や通信費など、間接的な費用については自己負担となります。）
- 対象事業： ・健康・医療分野（創薬、リサーチツール、医療機器、ヘルステック等）
・創薬シーズは前臨床以上のステージにあること、デバイスはプロトタイプがあること
- 参加資格： ①以下の表に該当する企業 ※次の優先順位にて審査します。

1	横浜市内に本社がある中小企業
2	本社は横浜市外だが、市内に事業所等がある中小企業
3	将来的に横浜市内に事業所等を立地することを考えている企業 ・ 申込時に横浜市への立地計画を提出いただきます。

※資本金や創業年数は問いません。企業内の新規事業も対象となります。

※LIP横浜会員であること（申請時に会員登録をお願いします。）

②将来的に横浜市内での起業を考えている年齢が満18歳以上の個人

- 審査： CONNECTによる一次審査（書類審査）と二次審査（Web面接）を実施します。
- 使用言語： 英語（ご希望により、通訳手配（無料）が可能です）
- 申込方法： 事務局にお問合せいただいた方に申請書をメールでお送りします。必要事項を記入のうえ、PDFファイルに変換してメール添付で事務局にお送りください。

※プログラムにご興味がありましたらお気軽にお問い合わせください。個別にご説明します。

<事務局> 横浜市経済局産業連携推進課（担当 畑中・森・今井）

電話：045-671-3495

E-mail：ke-lifePFG@city.yokohama.jp

スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
CONNECT			審査		メンタリング					
木原財団 IDEC 横浜					伴走支援					★
横浜市	公募期間	締切		決定通知						デモデイ

4月19日（火）

公募開始 ※ 随時、応募相談可

5月31日（火）

公募締切

6月7日（火）～14日（火）

一次審査（CONNECTによる書類選考）

6月下旬

一次審査 結果通知

7月13日（水）～21日（木）の期間中にいずれかで実施

二次審査（オンライン）

7月下旬

支援対象者 決定通知

8月10日（水）

☆キックオフ

8月～10月

メンタリング（オンラインミーティング3回）

9月下旬（1回目）、11月上・中旬（2回目）

★ピッチプラクティス

2023年1月下旬

デモデイ（オンライン）

【重要】横浜市内または米国サンディエゴ市内における新型コロナウイルス感染症等の状況により、事業が予定どおりに実施されない場合があります。

次ページあり

CONNECT とのアクセラレーションプログラム修了企業の実績

令和元年度～3年度のプログラム修了企業において合計 **16 億円以上の資金調達**に成功しています。

(例) アーサムセラピューティクス株式会社 (中区)

- ・開発中の治療薬の臨床 POC 獲得に向けて第三者割当増資により総額約 5.9 億円の資金調達を実施 (2020/12/24)

株式会社 CROSS SYNC (金沢区)

- ・重症患者管理システム「iBSEN (イブセン)」開発のための第三者割当増資により総額 1.5 億円の資金調達を実施 (2021/3/8)

【修了企業からのコメント】

「事業について固まり切っていない時点で、プログラムが開始となったが、3 か月に渡るメンタリングを経て、ピッチスライドの構成から事業・数値計画に至る隅々までご助言いただいた。投資企業様、事業者様、研究機関様など様々な方々と会議を行う際に、筋の通ったプレゼンテーションや事業ビジョンを伝えられるようになり、多くの方に共感を得られるようになったと強く感じております。また、実際に海外のオーディエンスを招いたピッチイベントも実施していただき、非常に貴重な体験ができたとともに、ピッチ後の QA セッションを通して、課題や強みを明らかにでき、事業の方向性をより明確なものにすることができました。」(CROSS SYNC)

専門家・コーディネーターによるプログラムへの伴走支援について

事業戦略、マーケティングを専門とする専門家・コーディネーターから、メンタリング期間中の伴走支援を受けることができます(参加企業の事業領域によって、木原財団または IDEC 横浜が伴走)。

「CONNECT のメンターから言われたことはわかるが、それをどういう意味であるか、解釈をどうするかについて説明してもらいたい。」「次回のメンタリングに向けてどうするか相談したい。」といったプログラム参加者の悩みに答え、ともにビジネスモデルをブラッシュアップしながらゴールに向けた支援を行います。

※大企業の場合は、伴走支援の対象外となることがあります。

横浜市の米国展開支援ネットワークのご紹介

1. 米州事務所のネットワークを通じた現地企業とのマッチング
2. 本プログラム修了企業を米国バイオクラスター機関“Biocom California”にご紹介

※詳しくは横浜市のウェブサイトをご確認ください。

https://www.city.yokohama.lg.jp/business/keizai/lifescience/kaigai/overseas_promo_usa.html



イノベーション都市・横浜について

横浜市は、2019年1月に、研究者・技術者、起業家、学生などの人材が、組織を超えて交流し、新たなイノベーションを横浜から創出していく、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。

「ヨコハマ・クロスオーバー (YOXO)」を旗印として、みなとみらい 21

地区の研究開発拠点や、関内地区のベンチャー企業など、市内各地でイノベーション人材の交流を広げ、産学官で新事業の創出・育成に取り組んでいます。

また、「I・TOP 横浜」と「LIP横浜」の2つのオープンイノベーションを推進するプラットフォームを相互に連携させることで、市内企業の IoT 及びライフイノベーションの取組を促進します。



お問合せ先

経済局産業連携推進課担当課長 松本 圭市 Tel : 045-671-3591
木原記念横浜生命科学振興財団事務局長 岩船 広 Tel : 045-502-4810

※本件は、経済記者クラブにも配布しております。